

錦江湾の将来 市民ら考える

霧島でフォーラム

NPO法人「美しく豊かな錦江湾を守り育てる会」が主催する「第1回錦江湾フォーラム」が11月27日、霧島市の隼人農村環境改善センターであった。写真。市民ら約500人が訪れ、ふるさとの海について考えた。

10月に同会がNPO法人に認定されたことを記念して開催。鶴丸明人同会理事長や鹿児島大学水産学部の小山次朗教授ら7人がパネリストを務めた。住民

からは「貝が採れなくなつた」「湾と桜島のきれいな風景を残したい」との意見が出され、パネリストは「ここ数年は水質の改善が見られない」などと述べた。

討論に聴き入った同市国分の東郷球雄さん(75)は「自然が破壊されていると感じる。こうした会でみんなが集まることは自然保護に取り組み大きな力になるはず」と話した。